| / 警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。 この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。 この取扱説明書とスタートガイド(別紙)をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになっ



キャビネットを開けたり、分解や改造をしな

火災や感電、けがの原因となることがあります。 分解禁止

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れ

なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原 禁止

交流100Vの電源でお使いください。海外など、異

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となり

電源コードを加工したり、傷つけたりしない。

重いものをのせたり、引っ張ったりしない。

サービス窓口に交換をご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて

聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。 禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本機が

落下してけがの原因となることがあります。また、 禁止

置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

電源コードや接続ケーブルは足にひっかけると本

機の落下や転倒などにより、けがの原因となること 禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電

長期間使用しないときは安全のため電源プラグ セントから抜く

をコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などによ

があります。充分に注意して接続、配置してください。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞くことをお

熱器具に近づけない。加熱しない。

<u></u> 注意

すすめします。

源プラグを抜く

設置上のご注意

ない

があります。

安定した場所に置く

コード類は正しく配置する

り火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、

本機の角でけがをしないようにお気をつけください。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用し

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用す 禁止

ると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部

品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作によ

本製品を使用中に他の機器に電波障害など

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれ

ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントな 禁止

どの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれ

が発生した場合は、ワイヤレス機能を使用し

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、

くではワイヤレス機能を使用しない

る事故の原因となるおそれがあります。

移動させるときは、電源コードを抜く。

• 設置時、本機と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。

電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニー

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の

家財に損害を与えたりすることがあります。

窓口にご依頼ください。

本機を日本国外で使わない

電源コードを傷つけない

感電の原因となります。

因となります。

HT-S400

ください。

たあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。 しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをする と、火災や感電などにより人身事故になることがあり

危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守り



安全のための注意事項を守る 下記の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項

が記載されています。 「使用上のご注意」もあわせてお読みください。 定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセント と電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグが しっかり差し込まれているか、などを点検してください。

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが 破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソ ニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

故障したら使わない

変な音・においがしたら、煙が出たら ● 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く ❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼す

警告表示の意味

本取扱説明書および製品では、次のような表示をし ています。表示の内容をよく理解してから本文を お読みください。

危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂など

により死亡や大けがなどの人身事故が生じます。 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより

死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故に よりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすること

があります。 注意を促す記号









プラグをコン セントから抜く

下記の注意事項を守らないと火災・感電により 死亡や大けがの原因となります。

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や

湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上

に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。本機の

上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かない

→ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさい

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上ま 禁止

たは本機を本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨

げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密

接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるよ

うなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因と

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接 指示

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因とな 禁止

ることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないで

続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてく

ださい。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に

電源プラグは抜き差ししやすいコンセント

ニーサービス窓口にご相談ください

だりしない

なることがあります。

電源から切り離せません

日光のあたる場所には置かない

に接続する

電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソ

接触禁止

内部に水や異物を入れない 本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったも のやローソクを置かない

らの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これら の医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当 医師にご相談ください。 バースピーカーについて

機銘板は底面に貼ってあります。

医療機器に近づけない

電池についての安全上の注意 液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避ける ため、下記の注意事項を必ずお守りください。



素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失 明やけが、皮膚の炎症の原因となることがありま 接触禁止 す。液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れるこ ともあります。 必ず次の処理をする

→ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水 道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医 指示

師の治療を受けてください。 ➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充 分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状がある

ときは、医師に相談してください。

⚠ 警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

なることがあります。

用・保管・放置しない

+と一の向きを正しく入れる

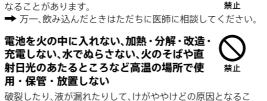
→ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

原因となることがあります。

とがあります。

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因と



指定以外の電池を使わない、新しい電池と使 用した電池または種類の違う電池を混ぜて 電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、け 4 壁掛けテンプレートに印字されている「← ③ がややけどの原因となることがあります。 ネジ取付けライン」の印(®)の位置に、手順1で

+とーを逆に入れると、ショートして電池が発熱や ぬ刻をしました。 破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの

使い切ったときや、長期間使用しないときは、 電池を取り出す 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が

使用上のご注意

次のような場所には置かないでください。

- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床に 本機を置くと、床に変色、染みなどが残る場合があります。 - チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用する とき、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがありま

す。このような場合は、本機をそれらの機器から離して設 置してください。 - 電子レンジや大きなスピーカーなど、強力な磁気を発する

ものの近く。 • 本機は、ハイパワーアンプを搭載しています。 そのため、本 機背面の通風孔をふさぐと、内部の温度が上昇し、故障の原

因となることがあります。通風孔を絶対にふさがないでく • 使用中に本機の温度が上昇することがありますが、故障で

はありません。 本機のスピーカーは、防磁型ではありません。本機の上や

近くに磁気を利用したカード類は置かないでください。 本機の周りにテレビ以外の金属物を置かないでください。 無線機能に影響が出る場合があります。

付属の電源コードについて

付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用で きません

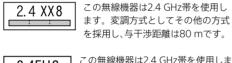
お手入れについて キャビネットは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふい

てください。 研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は 使わないでください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では 電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同 種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要す る移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電 力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略 す)が運用されています。 . 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用され

ていないことを確認してください。 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生し た場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、また は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニー の相談窓口までお問い合わせください。



この無線機器は2.4 GHz帯を使用し ます。変調方式としてその他の方式 を採用し、与干渉距離は80 mです。

す。変調方式としてFH-SS変調方式を

採用し、与干渉距離は80 mです。

本機のマニュアルについて

• 本書では操作の説明はリモコンを使っています。 • イラストは細かい部分を省いて描いていることがあ ります。そのため実際の製品とは多少異なることが

• [--]カッコの中に書かれている文字は表示窓に表示 されます。

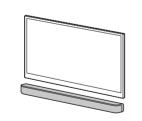
設置と接続

ぬれ手禁止

テレビとHDMIケーブルまたは光 デジタル音声ケーブルでつなぐ

スタートガイド(別紙)をご覧ください。

バースピーカーを壁に取り付ける 次の手順でバースピーカーを壁に取り付けることが



●壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。 壁の材質によっては破損するおそれがあります。ネジは柱 部分にしっかりと固定してください。バースピーカーは補 強された壁に水平に取り付けてください。

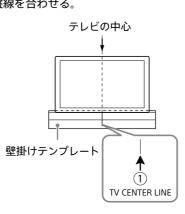
• 販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な 取り付けを行ってください。 • プラグの大きなケーブルを使用する場合、バースピーカー を壁に取り付けられないことがあります。 • 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによ る事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いませ

1 バースピーカー背面の穴に合う市販のネジを2 本用意する。

> – 4 mm 30 mm以上

++ 5.1 mm 10 mm バースピーカー背面

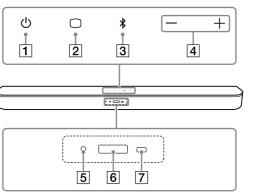
2 テレビの幅の中心に、壁掛けテンプレート(付 属)に印字されている「↑① TVセンターライン」 の縦線を合わせる。



各部の名称とはたらき

バースピーカー

正面 セロハンテープ 壁掛けテンプ TV BOTTOM LINE



- 青色で2回ずつ点滅:BLUETOOTH機器登録

- 青色で点滅: BLUETOOTH接続待ち状態です。

リモコンをバースピーカーの受光部に向けて

1 (電源)ボタン 本機の電源を入れます。

② □ (TV)ボタン

4 +/-(音量)ボタン

6 表示窓

7 リモコン受光部

操作してください。

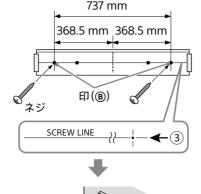
5 BLUETOOTHランプ

スタンバイ状態にします。

(ペアリング)待ち状態です。

- 青色で点灯: BLUETOOTH機器と

BLUETOOTH接続されています。



3 壁掛けテンプレートに印字されている「←②

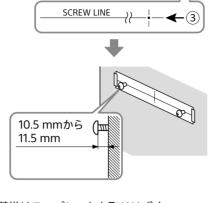
貼る。

TV下端ライン」をテレビの下端に合わせ、壁掛

けテンプレートを市販のセロハンテープなどで

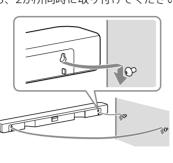
レート

用意したネジを留める。



5 壁掛けテンプレートを取りはずす。

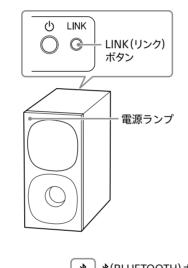
6 バースピーカー背面の穴をネジにかける。 バースピーカー背面の穴とネジの位置を合わせ てから、2か所同時に取り付けてください。



壁掛けテンプレートはしっかり伸ばして貼ってください。

9 HDMI出力(TV (ARC))端子 サブウーファーを手動でつなぐ HDMI入力端子のあるテレビをHDMIケーブル

サブウーファーが自動でつながらないとき、または複 数のワイヤレスサウンド機器を使用しているときに 特定のサブウーファーとつなぎたいときは、手動で本 機とつなぎます。



★ 常(BLUETOOTH)ボタン 十 十 (音量)ボタン

バースピーカーの 🕯 (BLUETOOTH)ボタンと+ (音量)ボタンを同時に5秒以上押したままにす

表示窓に「SECURE LINK」が表示された後、 [LINK]が点滅します。

手動接続を中止する場合は、もう一度バース ピーカーの **⋠** (BLUETOOTH) ボタンと+(音量) ボタンを同時に5秒間以上押したままにします。

2 サブウーファーのLINKボタンを押す。 手動接続を開始します。 サブウーファーの電源ランプがアンバー色で点

滅します。 3 表示窓に[DONE]が表示されていることを確認 する。

手動接続が完了し、サブウーファーの電源ラン プがアンバー色で点灯します。 ご注意

表示窓に[ERROR]が表示された場合は、サブウーファーは本

機とつながれていません。手動接続を再度行ってください。

8 AC入力端子

でつなぎます。本機はARCに対応しています。 ARCとはHDMIケーブルを通して、テレビの音 声をテレビのHDMI端子から本機などのAV機 器に送る機能です。 10 TV入力(OPTICAL) (テレビ入力(光デジタ

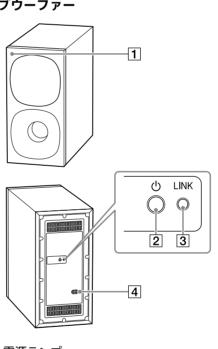
ル))端子

11 IRリピーター

バースピーカーが受けたテレビのリモコン信 号をテレビに転送します。 12 UPDATE (アップデート)端子

本機をアップデートするときに、USBメモリー をつなぎます。

サブウーファー



1 電源ランプ

- 緑色で点灯:本機と接続されています。 - 赤色で点灯:スタンバイ状態です。 - アンバー色で点灯: 本機と手動接続されて

います。 - 緑色でゆっくり点滅:本機との接続待ち状態 です。

- アンバー色でゆっくり点滅: 本機との手動接 続待ち状態です。 - アンバー色で2回ずつ点滅:手動接続でペア リング待ち状態です。

- アンバー色で速く点滅:ソフトウェアアップ デート中です。 - 消灯:電源オフ状態です。

2 (電源)ボタン サブウーファーの電源を入れます。サブウー ファーの電源が入っているときに押すと、オフ

にします。 3 LINK (リンク)ボタン 4 AC入力端子

リモコン ボタンを押す長さで働きが異なるボタンがあります。

います。その他の機能について詳しくは、裏面の「設

定を変更する」をご覧ください。 I INPUT SOUND VOICE + NIGHT

本機の電源が入っているときに押すと、本機を INPUT (入力切換)ボタン 再生する入力を選びます。 ボタンを押すたびに、TV入力とBLUETOOTH

2 SOUND FIELD (サウンドフィールド)ボタ

入力が切り換わります。

サラウンド効果をオン/オフします。 3 △ (音量) +* /ーボタン

ここではボタンを短く押したときの機能を説明して

音量を調節します。 4 BASS (低音) +/ーボタン

スタンバイ状態にします。

サブウーファーの音量を調節します。 [5] ① (電源)ボタン 本機の電源を入れます。 本機の電源が入っているときに押すと、本機を

⑥ VOICE (ボイス)ボタン

ボイスモード機能をオン/オフします。 7 NIGHT (ナイト)ボタン

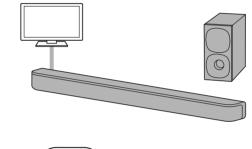
ナイトモード機能をオン/オフします。

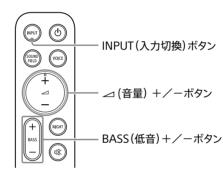
8 🕸 (消音)ボタン 音を一時的に消します。 * 🗖 (音量) +ボタンには、凸点(突起) が付いています。 操作 の目印としてお使いください。

電池交換について リモコンを操作しても本機が反応しないときは、電池 を2つとも新しいものに取り換えてください。 単4形マンガン乾電池をお使いください。

音楽/音声を聞く

HDMIケーブル(ARC)または光デ ジタル音声ケーブルでつないだテ レビの音声を聞く 本機でテレビの音声を聞くことができます。





1 INPUT (入力切換)ボタンを押して表示窓に [TV]を表示させる。

2 音量を調節する。

● リモコンの (音量) + / - ボタンで音量を調 節します。 • リモコンのBASS (低音) +/ーボタンでサブ

テレビをHDMI OUT (TV (ARC))端子とTV IN (OPTICAL) 端子両方につないだ場合は、先に音声が入力された端子が優 先されます。

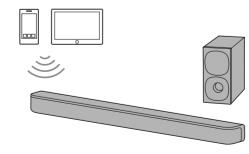
ウーファーの音量を調節します。

ちょっと一言 バースピーカーのO (TV)ボタンを押して入力を選ぶことも できます。

BLUETOOTH®機能でモバイル機器 の音楽を聞く

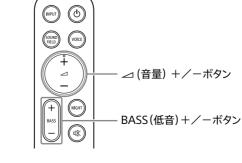
スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器と BLUETOOTH機能でつないで、モバイル機器に保存し ているさまざまな音楽をワイヤレスで聞くことがで

モバイル機器とBLUETOOTH機能でつなぐ場合は、テ レビの電源を入れることなく、本機側の操作だけでつ なぐことができます。



モバイル機器を機器登録(ペアリング)し て音楽を聞く BLUETOOTH機能を使ってモバイル機器と本機をペ

アリングする必要があります。 ペアリングとは、BLUETOOTH機器同士を互いにあ らかじめ登録することです。



1 バースピーカーの * (BLUETOOTH)ボタンを2 秒間押したままにする。



2 バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色で 2回ずつ点滅し、表示窓に[PAIRING]が表示され ていることを確認する。

検索する。

ご覧ください。

します。

再生する。

7 音量を調節する。

節します。

ご注意

さい。

ちょっと一言

になります。

(INPUT)

SOUND VOICE

確認する。

再生する。

5 音量を調節する。

ビの音声を聞く

で聞くことができます。

いる必要があります。

ソニー製のテレビ

声を聞く

グする必要があります。

(INPUT) (b)

SOUND FIELD VOICE

+ NIGHT

1 テレビの電源を入れる。

以上押したままにする。

きること

聞く

機器の画面に表示されます。



検出されたBLUETOOTH機器の一覧がモバイル

モバイル機器にBLUETOOTH機器をペアリング

する操作方法は、モバイル機器の取扱説明書を

4 モバイル機器の画面に表示された機器の一覧か

ら「HT-S400」を選び、互いの機器を登録する。

5 バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に

点灯し、表示窓に[BT]が表示されていることを

本機とモバイル機器との接続が完了しました。

6 モバイル機器の音楽再生アプリでコンテンツを

● リモコンの⊿ (音量)+/-ボタンで音量を調

● リモコンのBASS(低音)+/-ボタンでサブ

◆BLUETOOTH機器は9台までペアリングできます。9台ペア

リングしたあと新たな機器をペアリングすると 最も古い

ペアリング情報が新たな機器の情報で上書きされます。

• 2台目以降もモバイル機器ごとにペアリングを行ってくだ

★ (BLUETOOTH)ボタンを押すだけで、ペアリングモード

ペアリング済みのモバイル機器の音楽を

1 モバイル機器のBLUETOOTH機能をオンにする。

[BT]を表示させる、またはバースピーカーの

BLUETOOTHランプが点滅し、最後につないだ

BLUETOOTH機器が自動的につながります。

3 バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に

点灯し、表示窓に[BT]が表示されていることを

本機とモバイル機器との接続が完了しました。

4 モバイル機器の音楽再生アプリでコンテンツを

● リモコンの⊿ (音量) +/ーボタンで音量を調

● リモコンのBASS(低音)+/-ボタンでサブ

BLUETOOTH機能でソニー製テレ

テレビとBLUETOOTH機能でつなぐとで

ソニー製のBLUETOOTH機能搭載テレビ*をお使いの

場合、テレビと本機をBLUETOOTH機能でつないで、

テレビやテレビにつないだ機器の音声をワイヤレス

* A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応して

本機とテレビをワイヤレスでつないで音

BLUETOOTH機能を使ってテレビと本機をペアリン

2 (電源)ボタンを押して本機の電源を入れる。

3 バースピーカーの **∜** (BLUETOOTH) ボタンとリ

本機がペアリングモードになります。

モコンのINPUT (入力切換)ボタンを同時に5秒

表示窓に[TV-BT]、[ON]が順に表示されます。

常(BLUETOOTH)ボタン

(電源)ボタン

· INPUT(入力切換)ボタン

ブルーレイディスクレコーダー、

ケーブルテレビ(CATV)ボック

ス、またはゲーム機など

ウーファーの音量を調節します。

2 INPUT (入力切換)ボタンを押して表示窓に

咪 (BLUETOOTH)ボタンを押す。

本機から音声が出力されます。

·INPUT(入力切換)ボタン

⊿ (音量) +/ーボタン

BASS (低音) + / ーボタン

• BLUETOOTH機器の接続状態は、バースピーカーの

◆BLUETOOTH入力選択中は、バースピーカーの

BLUETOOTHランプで確認できます。

ウーファーの音量を調節します。

本機から音声が出力されます。

パスコードを要求された場合は、「0000」を入力

5 テレビでペアリング操作をして、本機を検索す **3** モバイル機器でペアリング操作をして、本機を

検出したBLUETOOTH機器の一覧がテレビ画面 に表示されます。 テレビにBLUETOOTH機器をペアリングする操

作方法は、テレビの取扱説明書をご覧ください。 6 テレビの画面に表示された機器の一覧から 「HT-S400」を選び、互いの機器を登録する。

4 バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色で

ていることを確認する。

2回ずつ点滅し、表示窓に[PAIRING]が表示され

PAIRING

7 バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に 点灯し、表示窓に[TV-BT]が表示されているこ

本機とテレビとの接続が完了しました。

とを確認する。

8 テレビのリモコンでお好みの番組、またはテレ ビにつないだ機器の入力を選ぶ。

9 テレビのリモコンで本機の音量を調節する。 テレビのリモコンの消音ボタンを押すと、本機 の音を一時的に消すことができます。

●本機からテレビの音声が出ないときは、INPUT(入力切換) ボタンを押してTV入力を選び、バースピーカーの表示窓と ランプの状態を確認してください。 - 表示窓に[TV-BT]が表示されているとき:本機とテレビ の接続が完了し、テレビの音声が本機から出力されます。

·表示窓に[TV]が表示されているとき:ペアリングの手順 を最初からやり直してください。 • 本機とテレビをHDMIケーブルでつなぐと、BLUETOOTH

接続が解除されます。本機とテレビをBLUETOOTH機能で つなぎなおすには、HDMIケーブルを抜いてからペアリン グの手順を最初からやり直してください。

ペアリングしたテレビの音声を聞く

テレビの電源に連動して本機の電源が入り、本 機からテレビの音声が出力されます。

ビにつないだ機器の入力を選ぶ。 テレビに表示されている画面の音声が本機から 出力されます。

の音を一時的に消すことができます。

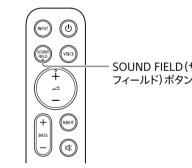
本機のリモコンで操作できること 以下のボタンを使うことができます。

INPUT(入力切換)ボタン (INPUT) SOUND FIELD (サウンド フィールド) ボタン SOUND VOICE VOICE(ボイス)ボタン ⊿ (音量) +/ーボタン · NIGHT(ナイト)ボタン + NIGHT - BASS(低音)+/-ボタン

本機のリモコンでBLUETOOTH入力を選ぶと、テレビの音声 が本機から出なくなります。テレビの音声を本機で聞くには、 リモコンのINPUT (入力切換)ボタンを押してTV入力を選ん

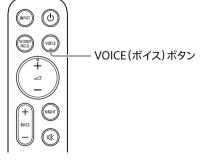
サラウンド効果を楽しむ(サウンド

音源に合わせてサラウンド効果の有無を切り換えら



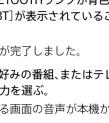
1 SOUND FIELD (サウンドフィールド)ボタンを 押して設定を選ぶ。 表示窓に設定が表示されます。

セリフを聞きやすくする(ボイス)



表示窓に設定が表示されます。

[Vo.ON] セリフを強調し、聞こえやすくし ます。 [Vo.OFF] ボイスモード機能を無効にしま す。



テレビに表示されている画面の音声が本機から 出力されます。

ご注意

- BLUETOOTHランプが2回ずつ点滅し、表示窓に [PAIRING]が表示されているとき:テレビ側でペアリン グを行ってください。

1 テレビのリモコンでテレビの電源を入れる。

2 テレビのリモコンでお好みの番組、またはテレ

3 テレビのリモコンで本機の音量を調節する。 テレビのリモコンの消音ボタンを押すと、本機

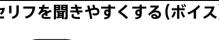
ちょっと一言 テレビの電源を切ると、連動して本機の電源も切れます。

音質を調整する

フィールド)



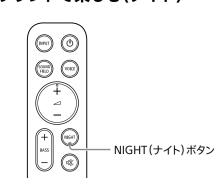
説明
サラウンド効果を加えて音声を
再生します。
臨場感のあるサラウンドを体感
したいときに適しています。
サラウンド効果を加えずに音声
を再生します。
音楽やニュースなどに適してい
ます。





設定 説明

深夜の小音量時でも明瞭感のある サウンドで楽しむ(ナイト)



1 NIGHT (ナイト)ボタンを押して設定を選ぶ。 表示窓に設定が表示されます。

設定	説明
[N.ON]	小さい音でも音響効果やセリフ
	の明瞭さを失わずに音声を楽し
	めます。
[N.OFF]	ナイトモード機能を無効にしま
	す。

本機の電源を切ると、ナイトモードは自動的に[N.OFF]に設 定されます。

テレビと連携して使う

テレビと本機を連携して操作する (HDMI機器制御機能)

HDMI機器制御機能対応のテレビと本機をHDMIケー ブルでつなぐと、本機とテレビの電源の入/切や音量 の調節を連携させることができます。

HDMI機器制御機能とは

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)ケー ブルでつないだ機器同士が連携して動作する機能の ことです。HDMI機器制御機能に対応した機器間で働 きますが、他社製の機器とつないだ場合に動作しない 場合があります。

テレビと連携して使う準備をする

本機とHDMIケーブルでつないだテレビと機器の HDMI機器制御機能を有効にしてください。 本機のHDMI機器制御機能のお買い上げ時の設定は

- ブルーレイディスクレコーダーなどの機器をHDMIケーブ ルでテレビにつないでいる場合は、その機器のHDMI機器制 御機能も有効にしてください。
- テレビやブルーレイディスクレコーダーなどの機器の HDMI機器制御機能を有効にするには、各機器に付属の取扱 説明書をご覧ください。 ● ソニー製のテレビをご使用の場合は、テレビのHDMI機器制
- 御("ブラビアリンク")機能を有効にすると、本機のHDMI機 器制御機能も自動的に有効になります。設定が完了すると、 表示窓に[DONE]が表示されます。

テレビのリモコンで本機の電源や音量を

テレビのリモコンで電源や音量を操作すると、テレビ に連携して本機が動作します。



電源の連動

- テレビの電源を入れると、本機の電源も自動的に入り
- テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れま す。

テレビの電源を切るよりも前に本機の電源を切ると、次にテ

レビの電源を入れても本機の電源が入らないことがあります。 この場合、以下の操作をすると本機の電源が入ります。 - テレビのメニューで、本機をスピーカー出力先に選ぶ - ソニー製のテレビをお使いの場合は、テレビの電源が入っ ている状態で本機の電源を入れる。

音量の調節

テレビで視聴している映像の音声が自動的に本機の スピーカーから出力されます。また、テレビのリモコ ンで本機の音量を調節できます。

HDMI機器制御機能の設定は以下の操作で変更できます。

- 1 リモコンのVOICE (ボイス) ボタンを5秒以上押したままにす 表示窓に[CONTROL FOR HDMI]が表示されます。
- 2 リモコンの⊿(音量) +/ーボタンを押して表示窓にお好み の設定を表示させる。
- 3 そのまま表示窓の表示が消えるまで待つ。 設定が確定されます。

"ブラビアリンク"対応テレビと本 機を連携して操作する

"ブラビアリンク"はHDMI機器制御機能をソニーが独 自に拡張した機能です。"ブラビアリンク"対応のテレ ビなどの機器をHDMIケーブルでつなぐと、これらの 機器を連携して操作ができます。

"ブラビアリンク"を使うには

ソニー製の機器のHDMI機器制御機能を有効にすると、 "ブラビアリンク"が有効になります。 HDMI機器制御機能を有効にする手順について詳しく は、「テレビと連携して使う準備をする」をご覧くださ

"ブラビアリンク"でできること

HDMI機器制御機能 ● 電源の連動

● 音量の調節

音声設定

調節する

換える

設定を変更する

小さな音を聞き取りやすく [ON]に設定すると、音声信号 **1** バースピーカーの①(電源)ボタン、○(TV)ボタ する のダイナミックレンジ(最大音 ン、一(音量)ボタンを同時に5秒以上押したまま 量から最小音量の幅)を圧縮し にする。 て、小さな音を聞きとりやすく 表示窓に「DRC」が表示され、続いて現在の設 します。 定値が表示されます。 ドルビーデジタル信号を再生 2 設定値を変更する場合は、手順1と同じ操作を する場合のみ有効です。 する。

テンツに合わせて自動的に音

量を調節します。

表示窓に設定値が表示された時点で設定が確 定します。 つないだ機器の音量を自動 [ON]に設定すると、本機につ 1 リモコンのNIGHT(ナイト)ボタンを5秒以上押 ないだ機器の入力信号やコン

したままにする。

表示窓に [A.VOL] が表示されます。 2 リモコンの△(音量)+/ーボタンを押して、お

好みの設定値を表示窓に表示させる。 3 そのまま表示窓の表示が消えるまで待つ。

設定が確定します。 2か国語放送の音声を切り 2か国語放送の音声を切り換え 1 リモコンの※(消音)ボタンを5秒以上押したま まにする。 表示窓に [DUAL] が表示されます。

2 リモコンの△(音量)+/ーボタンを押して、お

3 そのまま表示窓の表示が消えるまで待つ。

好みの設定値を表示窓に表示させる。

設定が確定します。

ます。

BLUETOOTH設定

BLUETOOTHスタンバイ機 [ON]に設定すると、本機がス 1 バースピーカーの(電源)ボタン、 能のオン/オフを設定する タンバイ状態のときに、 BLUETOOTH機器の操作で自 動的に本機の電源が入り、 BLUETOOTH接続が開始され ます。

にすることができます。

\$ (BLUETOOTH) ボタン、ー(音量) ボタンを同 時に5秒以上押したままにする。 表示窓に [BT STANDBY] が表示され、続いて 現在の設定値が表示されます。

2 設定値を変更する場合は、手順1と同じ操作を 表示窓に設定値が表示された時点で設定が確 定します

• [ON] に設定すると、スタンバイ時の消費電力が大きく なります。

たままにする。

• BLUETOOTHスタンバイ機能は、BLUETOOTH機能が オフのときは設定できません。 BLUETOOTH機能のオン/ BLUETOOTH機能をオン/オフ 1 バースピーカーの(1電源)ボタンと

> 表示窓に [BT POWER] が表示され、続いて現 在の設定値が表示されます。 2 設定値を変更する場合は、手順1と同じ操作を

★ (BLUETOOTH) ボタンを同時に5秒以上押し

する。 表示窓に設定値が表示された時点で設定が確

表示窓/ランプ設定

オフを設定する

調整する

表示窓とランプの明るさを 以下の明るさを変更できます。 1 バースピーカーの口(TV)ボタンと • バースピーカーの表示窓 • バースピーカーの BLUETOOTHランプ

★ (BLUETOOTH) ボタンを5秒以上押したまま 表示窓に [DIMMER] が表示されます。 • サブウーファーの電源ランプ

2 リモコンの⊿(音量)+/ーボタンを押して、お 好みの設定値を表示窓に表示させる。

3 そのまま表示窓の表示が消えるまで待つ。 設定が確定します。

[OFF]を選ぶと表示窓が消灯します。いずれかのボタン を押すと点灯しますが、約10秒間操作をしないと消灯し ます。表示窓に表示をしないと操作できない場合は、 [DARK]に設定したときの明るさで表示します。

その他の設定/機能

バージョンを確認する

音質設定やソフトウェアの ストリーム情報や、サウンド **1** リモコンのSOUND FIELD(サウンドフィールド)

フィールド、ボイスモード、ナ ボタンを5秒以上押したままにする。 イトモードの現在の設定、ソフ 表示窓にストリーム情報が表示されます

2 リモコンの △(音量) +/ーボタンを押して、確 認したい項目を選ぶ。 △(音量)ーボタンを押すたびに、ストリーム情 報 → サウンドフィールド → ボイスモード →

ナイトモード → ソフトウェアのバージョンの順

で表示されます。 △(音量) +ボタンを押すと、逆の順で表示され ます。

IRリピーターを使う バースピーカーがテレビのリ **1** バースピーカーの***** (BLUETOOTH) ボタン、 モコン受光部を隠してしまい、 テレビのリモコンでテレビを 操作できなくなる場合があり ます。このようなときは本機

トウェアのバージョンを確認

することができます。

- (音量)ボタンを同時に5秒以上押したままに する。 表示窓に [IR REPEATER] が表示されます。

のIRリピーター機能を有効に **2** リモコンの △ (音量) + / ーボタンを押して、お してください。バースピーカー 好みの設定値を表示窓に表示させる。

が受けたテレビのリモコン信 **3 そのまま表示窓の表示が消えるまで待つ**。 号がテレビに転送され、リモコ ン操作が可能になります。

設定が確定します。

ソフトウェアをアップデー ソフトウェアアップデート ファイルを保存したUSBメモ トする リーをバースピーカーの につないでアップデートを開 始します。 ソフトウェアアップデートが あるときは、下記のウェブサイ トでお知らせします。 https://www.sony.jp/

support

IRリピーターをご利用する場合は、バースピーカーをテ レビ画面から9 cm以上離して設置してください。 **1** ソフトウェアアップデートファイルを保存した

USBメモリーをバースピーカーのUPDATE(アッ

プデート)端子につなぐ。 UPDATE (アップデート)端子 2 バースピーカーの心(電源)ボタン、 ★ (BLUETOOTH) ボタン、+ (音量) ボタンを同 時に5秒以上押したままにする。

表示窓に[UPDATE]と表示され、アップデートが 開始されます。

アップデートを開始する前に以下を確認してください。 - BLUETOOTH機能がオンになっている。 – サブウーファーの電源が入っていて本機とつながれて

肖費電力を抑える

消費電力を抑えて本機を使うには、下記の設定を変更します。

使用状況を検知して本機の電源を切る

自動電源オフ機能をオンにすると、入力がない状態で本機を何も操作しないまま約20分が経過すると、自動的にス タンバイ状態になります。

- **1** バースピーカーの○ (電源)ボタンと○ (TV)ボタンを同時に5秒以上押したままにする。 表示窓に[AUTO STANDBY]が表示され、現在の設定が表示されます。
- 2 リモコンの△ (音量) +/ーボタンを押して表示窓にお好みの設定を表示させる。 **3** そのまま表示窓の表示が消えるまで待つ。
- 設定が確定されます。

スタンバイ時の消費電力を抑える スタンバイ時の消費電力を抑えるには、BLUETOOTHスタンバイモード、HDMI機器制御機能をオフにしてくだ

BLUETOOTHスタンバイモードの設定を変更するには、バースピーカーのŮ(電源)ボタン、★(BLUETOOTH)ボタ ン、-(音量)ボタンを同時に5秒以上押したままにします(表示窓に変更した設定が表示されます)。 HDMI機器制御機能の設定を変更するには、リモコンのVOICE(ボイス)ボタンを5秒以上押したままにして表示窓 に設定を表示させた後、リモコンの△ (音量) +/-ボタンを押してお好みの設定を選びます。

困ったときは

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、次の順序で対処してく

1 「困ったときは」で、該当するトラブルと解決方 法を調べる。

2 本機を初期化する。

本機のすべての設定がお買い上げ時の状態に戻 ります。詳しくは「初期化する」をご覧ください。

それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店また はソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源が入らない

- 電源コードがしっかり差し込まれているか確認して
- 電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、数 分後に再び電源を入れてください。

本機の電源が勝手に切れてしまう

• 自動電源オフ機能がオンになっています。バース ピーカーの() (電源)ボタンと() (TV)ボタンを同 時に5秒以上押したままにして表示窓に[AUTO STANDBY]を表示させ、リモコンの⊿(音量) +/-ボタンを押して表示窓に[OFF]を表示させてくださ

テレビの電源を入れても、本機の電源が入らない

• 本機のHDMI機器制御機能をオンに設定してくださ い。リモコンのVOICE (ボイス)ボタンを5秒以上押 したままにして表示窓に[CONTROL FOR HDMI]を 表示させ、リモコンの△ (音量) +/-ボタンを押 して表示窓に[ON]を表示させてください。テレビ がHDMI機器制御機能に対応している必要がありま す。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

• テレビのスピーカー設定を確認してください。本機 の電源はテレビのスピーカー設定に連動します。詳 しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。 テレビによっては、前回テレビのスピーカーから音

声が出力されていた場合は、テレビの電源を入れて も本機の電源は入らない場合があります。

テレビの電源を切ると、本機の電源が切れる

• リモコンのVOICE (ボイス)ボタンを5秒以上押した ままにして表示窓に[CONTROL FOR HDMI]を表示 させ、本機のHDMI機器制御機能の設定を確認して ください。設定を変更するには、リモコンの⊿(音 量) +/ーボタンを押します。オンに設定している 場合は、本機の入力がTV入力のときにテレビの電源 を切ると、本機の電源も連動して切れます。

テレビの電源を切っても、本機の電源が切れない

● リモコンのVOICE (ボイス)ボタンを5秒以上押した ままにして表示窓に[CONTROL FOR HDMI]を表示 させ、本機のHDMI機器制御機能の設定を確認して ください。設定を変更するには、リモコンの⊿(音 量) +/ーボタンを押します。本機の入力がTVのと きのみテレビの電源を切ったときに本機の電源も切 れます。テレビがHDMI機器制御機能に対応してい る必要があります。詳しくは、テレビの取扱説明書 をご覧ください。

映像が出ない、正しく出力されない

◆本機の入力がTV入力のときにテレビの映像が出な い場合は、テレビのリモコンで見たいチャンネルを 選んでください。

本機とテレビがBLUETOOTH機能でつながらない

● テレビと本機をHDMIケーブル(別売)でつないでい る場合は、BLUETOOTH接続が解除されます。 HDMIケーブルを抜いてからペアリングの手順を最

初からやりなおしてください。

- 本機からテレビの音声が出ない ●テレビと本機をつないでいるHDMIケーブルまたは 光デジタル音声ケーブルの種類や接続を確認して
- ください(スタートガイド(別紙)を参照)。 • テレビと本機をつないでいるケーブル類を抜き、 しっかり奥まで差し込みなおしてください。続けて テレビと本機の電源コードを抜き、差し込みなおし
- てください。 ◆テレビと本機をHDMIケーブルのみでつないでいる 場合は、以下を確認してください。
- 本機がテレビのARC対応HDMI入力端子につなが れている。 - テレビのHDMI機器制御機能が有効になっている。 - 本機のHDMI機器制御機能がオンになっている。
- オンにするには、リモコンのVOICE (ボイス)ボタ ンを5秒以上押したままにして表示窓に [CONTROL FOR HDMI]を表示させ、リモコンの ∠ (音量) +/ーボタンを押して表示窓に[ON] を表示させてください。
- お使いのテレビがARCに対応していない場合は、光 デジタル音声ケーブル(付属)をつないでください (スタートガイド(別紙)を参照)。テレビがARCに対 応していない場合は、本機をテレビのHDMI入力端 子につないでもテレビの音声は本機から出力されま せん。
- INPUT (入力切換)ボタンを押して、TV入力を選ん でください。
- ・テレビの音量を上げる、または消音状態を解除して
- ください。 • テレビと本機の電源を入れる順番によっては、本機 が消音状態になる場合があります。その場合は、テ レビの電源を入れてから、本機の電源を入れてくだ
- テレビ(ブラビア)のスピーカー設定をオーディオシ ステムに切り換えてください。設定方法については、 テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビから出力されている音声を確認してください。 詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。 ◆本機はドルビーデジタル、PCM音声、MPEG-2 AAC フォーマットに対応しています。対応していない フォーマットの音声を再生する場合は、テレビ(ブラ

ビア)のデジタル音声出力を「PCM」に設定してくだ

さい。設定方法については、テレビの取扱説明書を

本機とテレビの両方から音が出る

ご覧ください。

• テレビの音声出力を外部のスピーカーから出力する 設定に切り換えてください。 テレビの音量を最小にしてください。

本機とテレビの音量の数値を同じにしても、音の大き さが同じにならない

• HDMI機器制御機能を有効にしていると、本機の音 量の数値がお使いのテレビの音量として表示される ことがありますが、テレビと本機の音量の数値が同 じであっても、テレビと本機では実際に出力される 音の大きさは異なります。テレビと本機で音の大き さが異なるのは、テレビと本機で音声処理の特性の 違いがあるためで故障ではありません。

サラウンド効果が得られない • サウンドフィールドの設定と入力信号によっては、

サラウンド処理による臨場感が得られないことがあ ります。また、番組やディスクによってはサラウン ド成分が少ないことがあります。 マルチチャンネルの音声を再生するには、つないだ

機器のデジタル音声設定を確認してください。詳し くは、接続機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

サブウーファーから音声が出ない、または音が小さい • リモコンのBASS (低音) +ボタンを押して、サブウー

- サブウーファーの電源コードがしっかり差し込ま

- サブウーファーの() (電源)ボタンを押して電源

• サブウーファーの電源ランプが赤色に点灯している

- サブウーファーの電源ランプが緑色またはアン

- 「サブウーファーを手動でつなぐ」の手順を行う。

• サブウーファーの電源ランプが赤色に点滅している

場合は、サブウーファーの() (電源)ボタンを押して

電源を切り、サブウーファーの通風孔がふさがって

• 低音の少ない入力(テレビ放送など)では、サブウー

ファーの音が聞こえにくいことがあります。内蔵の

① バースピーカーの○ (TV)ボタンを5秒間押した

内蔵のデモ音楽の再生が終了し、TV入力に戻り

• NIGHT (ナイト)ボタンを押して、ナイトモードをオ

BASS (低音)+/ーボタンが効かず、表示窓に[NOT

● サブウーファーをつないでいないときは、BASS(低

音) +/ーボタンは効きません。サブウーファーの

●バースピーカーのBLUETOOTHランプが点灯してい

• 接続相手のBLUETOOTH機器の電源が入っているか、

BLUETOOTH機能が有効になっているか確認してく

• バースピーカーとBLUETOOTH機器をできるだけ近

本機とBLUETOOTH機器を再度、ペアリングしてく

ださい。BLUETOOTH機器側で、本機の登録を解除

• BLUETOOTH機能をオフに設定している場合は、オ

ンに設定してください。BLUETOOTH機能の設定を

変更するには、バースピーカーの(電源)ボタンと

★ (BLUETOOTH) ボタンを同時に5秒以上押したま

●バースピーカーとBLUETOOTH機器をできるだけ近

●無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなど

の影響を受けていないか確認してください。電磁波

を発生する機器がある場合は、その機器を本機から

• 他のBLUETOOTH機器が近くにあるときはペアリン

グできない場合があります。その場合は、その

つないだBLUETOOTH機器の音が本機から出ない

● バースピーカーのBLUETOOTHランプが点灯してい

●バースピーカーとBLUETOOTH機器をできるだけ近

●無線LANや他のBLUETOOTH機器、電子レンジを使

用している場所など、電磁波を発生する機器がある

場合は、その機器を本機から離して使ってください。

• バースピーカーとBLUETOOTH機器との間に障害物

がある場合は、障害物を避けるか取り除いてくださ

は、バースピーカーをテレビから離してください。

• 接続相手のBLUETOOTH機器の位置を変えてくださ

●無線LANルーターやパソコンなどの無線LAN周波数

●映画を見ているときは、音が映像より遅れて聞こえ

• バースピーカーのリモコン受光部に向けて操作して

• リモコンと本機との間に障害物を置かないでくださ

• 電池が古い場合は、すべての電池を新しいものに取

• リモコンの正しいボタンを押しているか確認してく

• テレビのリモコン受光部が隠れないようにバース

● IRリピーター機能を有効にすることで改善する場合

があります。バースピーカーの **オ** (BLUETOOTH)ボ

タンとー(音量)ボタンを同時に5秒以上押したまま

にして表示窓に[IR REPEATER]を表示させ、リモコ

ンの⊿(音量) +/ーボタンを押して表示窓に[ON]

• 本機との接続を確認してください(スタートガイド

詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

●テレビのHDMI機器制御機能を有効にしてください。

• しばらく待ってから操作してください。本機の電源

コードを抜き差ししたときは、操作が可能になるま

で時間がかかります。15秒以上待ってから操作して

◆本機につないだテレビがHDMI機器制御機能に対応

• HDMI機器制御機能で制御できる機器の種類と数は、

HDMI CEC規格で以下のとおり制限されています。

- 録画機器(ブルーレイディスクレコーダー、DVD

- 再生機器(ブルーレイディスクプレーヤー、DVD

- オーディオシステム(AVアンプ/ヘッドホン):1

表示窓に[PROTECT]がスクロール表示され、5秒後

• プロテクト機能が作動しています。電源コードを抜

き、バースピーカーの通風孔がふさがっていないか

確認し、しばらくしてから本機の電源を入れてくだ

• BLUETOOTH機器側の音量を上げてください。

を5 GHz帯に切り換えてください。

映像より音が遅れる

る場合があります。

り換えてください。

テレビのリモコンが機能しない

ピーカーを設置してください。

を表示させてください。

HDMI機器制御機能が正しく働かない

していることを確認してください。

レコーダーなど): 3台まで

プレーヤーなど):3台まで

台まで(本機が使用します)

に本機の電源が切れる

さい。

- チューナー関連機器: 4台まで

本機のリモコンが機能しない

リモコン

ください。

ださい。

その他

(別紙)を参照)。

ください。

BLUETOOTH機器の電源を切ってください。

まにします(表示窓に変更した設定が表示されます)。

内蔵のデモ音楽が再生されます。

② もう一度口 (TV)ボタンを押す。

電源、接続状況を確認してください。

デモ音楽を再生してサブウーファーから音声が出る

バー色に点灯するようにサブウーファーの位置を

サブウーファー

以下を試してください。

れているか確認する。

場合は、以下を試してください。

いないか確認してください。

ことを確認してください。

ままにする。

フにしてください。

USEIが表示される

モバイル機器の接続

BLUETOOTH接続ができない

ることを確認してください。

する必要がある場合があります。

ださい。

づけてください。

ペアリングできない

づけてください。

離して使ってください。

ることを確認してください。

づけてください。

ます。

バースピーカーの近くに動かす。

を入れる。

- ファーの音量を上げてください。 • サブウーファーの電源ランプが緑色またはアンバー
- 色に点灯していることを確認してください。 • サブウーファーの電源ランプが消灯している場合は、
- カーがテレビの各種センサー(明るさセンサーなど) や、リモコン受光部、赤外線方式3Dグラス対応の3D テレビの「3Dグラス用発信部(赤外線通信)」、無線通 信をさえぎる可能性があります。その場合は、各種 センサーなどが正常に動作する位置までバースピー カーをテレビから離してください。各種センサーや リモコン受光部の位置については、テレビの取扱説 明書をご覧ください。

バースピーカーの置きかたによっては、バースピー

本機が正常に動作しない

• 本機がデモモードになっている可能性があります。 デモモードを解除するには、本機を初期化します。 バースピーカーの() (電源)ボタンとー(音量)ボタ ンを5秒以上押したままにしてください。

テレビの各種センサーが正常に動作しない

以下のメッセージが画面に表示される



◆テレビのリモコンでテレビのチャンネルを選んでく ださい。

初期化する

「困ったときは」で症状が改善されない場合は、本機を 初期化してください。

1 バースピーカーの() (電源)ボタンとー(音量) ボタンを5秒以上同時に押したままにする。 表示窓に[RESET]が表示され、本機が初期化さ

2 電源コードを抜く。

3 電源コードをつないで、() (電源)ボタンを押 して本機の電源を入れる。

主な仕様

れます。

バースピーカー (SA-S400) アンプ部 実用最大出力(非同時駆動、JEITA*)

フロントL /フロントRスピーカー:80 W×2 (各チャンネル4Ω、 * JEITA (電子情報技術産業協会)規定による測定値です

TV入力(OPTICAL) HDMI出力(TV (ARC))

HDMI部

19ピン標準コネクター(Type A) USB部

UPDATE端子 Aタイプ(ソフトウェアアップデート専用)

BLUETOOTH部 通信方式 BLUETOOTH標準規格 Ver.5.0

BLUETOOTH標準規格 Power Class 最大通信距離 見通し距離約25 m¹⁾

登録可能台数 モバイル機器:9台 ソニー製テレビ:1台 使用周波数带域

2.4 GHz 帯(2.4 GHz ~ 2.4835 GHz) 変調方式 対応BLUFTOOTHプロファイル²⁾

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) 対応コーデック3

SCMS-T方式 伝送帯域(A2DP 20 Hz ~ 20,000 Hz (32 kHz、44.1 kHz、48 kHzサンプリング時)

1) 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があり

2) BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機 能を標準化したものです。 3) 音声圧縮変換方式のことです。

• バースピーカーをテレビの下側に設置している場合 ⁴⁾ Subband Codec の略です。 フロントL /フロントRスピーカー部

> 2スピーカーシステム 使用スピーカー 52 mm × 100 mm コーン型、4 Ω

一般 電源 AC 100 V、50 Hz/60 Hz

消費電力 スタンバイ状態: 0.5 W以下(パワーセーブモード) (HDMI機器制御 機能およびBLUETOOTHスタンバイ機能オフ時)

スタンバイ状態:2W以下* (HDMI機器制御機能およびBLUETOOTH スタンバイ機能オン時) * 本機はHDMIケーブル接続がなく、BLUETOOTHペアリング履歴 がない場合に自動的にパワーセーブモードになります。 最大外形寸法*(約)(幅/高さ/奥行き)

900 mm × 64 mm × 88 mm * 突起部除< 質量(約)

サブウーファー (SA-WS400)

実用最大出力(非同時駆動、 100 W, 4 Ω, 100 Hz * JEITA (電子情報技術産業協会)による測定値です。 形式

バスレフ型 使用スピーカー 160 mm コーン型、4 Q 電源

AC 100 V. 50 Hz/60 Hz

雷気用品安全法による表示: 20 W

スタンバイ状態のとき: 0.5 W以下 最大外形寸法*(約)(幅/高さ/奥行き) 192 mm × 387 mm × 400 mm * 突起部除く

質量(約)

消費電力

ワイヤレストランスミッター/レシーバー部

使用周波数带域 2.4 GHz 帯(2.404 GHz - 2.476 GHz) 変調方式 GFSK

付属品 単4形マンガン乾電池(2)

光デジタル音声ケーブル(1) • 電源コード(2)

取扱説明書(本書)

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご

入力できる音声フォーマット (HDMI出力(TV (ARC))またはTV 入力(OPTICAL))

以下の音声フォーマットに対応しています。 ●ドルビーデジタル Linear PCM 2ch

MPEG-2 AAC

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどの デジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。 およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。 必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使いか たですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこ ともあります。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ 必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わ せたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんや ポケットに入れて使うこともできます。 BLUETOOTH標準規格は世界中の数千社の会社が賛同してい る世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品 で採用されています。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロ

ファイル プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標 準化したものです。本機は下記のBLUETOOTHバージョンと プロファイルに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン: BLUETOOTH標準規格Ver. 5.0

対応BLUETOOTHプロファイル – A2DP(Advanced Audio Distribution Profile): 高音質

• BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器が本

- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile): 再生、 一時停止、停止など、AV機器を操作する。

な音楽コンテンツを送受信する。

機と同じプロファイルに対応している必要があります。た だし、同じプロファイルに対応していても、BLUETOOTH機 器の仕様により機能が異なる場合があります。 ●BIUFTOOTH無線技術の特性により、送信側での音声・音楽 再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。

通信有効範囲 見通し距離で約25 m以内で使用してください。 以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあり

- BLUETOOTH接続している機器の間に、人体や金属、壁など の障害物がある場合

– その他の電磁波が発生している場所

- 無線LANが構築されている場所 – 電子レンジを使用中の周辺

他機器からの影響 BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n)は同一周波 数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した他の機 器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下 雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次

の対策を行ってください。 - 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、他の無線LAN 搭載機器から10 m以上離れたところで行う。

— 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響 BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動 作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を 発生させる原因になりますので、次の場所では本機および

BLUETOOTH機器の電源を切ってください。 – 病院内/電車内/航空機内/ガソリンスタンドなど引火性 ガスの発生する場所

– 自動ドアや火災報知機の近く

無線通信を行う際はご注意ください。

• 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュ リティーとして、BLUFTOOTH標準規格に準拠したセキュ リティー機能に対応しておりますが、設定内容等によってセ キュリティーが充分でない場合があります。BLUETOOTH

らかじめご了承ください。 ●本機と接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIGの定め るBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要 があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合してい

• BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生し

ましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あ

ても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続でき

ない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生す

る場合があります。 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況 によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあ

ります。 電波法に基づく認証について 本機に内蔵された無線装置は、電波法に基づく小電力データ 通信システムの無線設備として認証を受けています。従って、 本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがありま

● 本機に内蔵の無線装置に貼ってある証明ラベルをはがすこ

● 本機に内蔵の無線装置を分解/改造すること

商標とライセンスについて 本機はドルビーデジタル*デコーダーを搭載しています。 * ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されていま す。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、及びダブルD記号は

Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。

BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,

Inc. が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社は これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。他 のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所 有者に帰属するものとします。

HDMI®、High-Definition Multimedia Interface、および

Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

"ブラビアリンク" および "BRAVIA Link" ロゴは、ソニー株式

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に

HDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI

各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

HDMI

会社の登録商標です。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や映像方式の異

保証書

● この製品には保証書が添付されていますので、お買 い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、 大切に保存してください。

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかを点 検してください。

それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口へ ソニーの相談窓口へご相談になるときは、次のことを

お知らせください。

● つないでいるテレビやその他の機器のメーカーと型名 ● 故障の状態:できるだけ詳しく

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきま す。詳しくは保証書をご覧ください。

当社ではステレオの補修用性能部品(製品の機能を維

ご了承ください。

部品の交換について この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用 する場合があります。その際、交換した部品は回収さ



https://www.sony.jp/support/ 使い方相談窓口 0120-333-020 0120-222-330

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

なる海外ではお使いになれません。

• 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェック

● 型名

• 購入年月日

保証期間中の修理は



050-3754-9599 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。 FAX(共通) 0120-333-389

©2022 Sony Corporation Printed in China

有料修理させていただきます。 部品の保有期間について

せていただきます。

保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により

持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保 有しています。ただし、故障の状況その他の事情によ り、修理に代えて製品交換をする場合がありますので

